

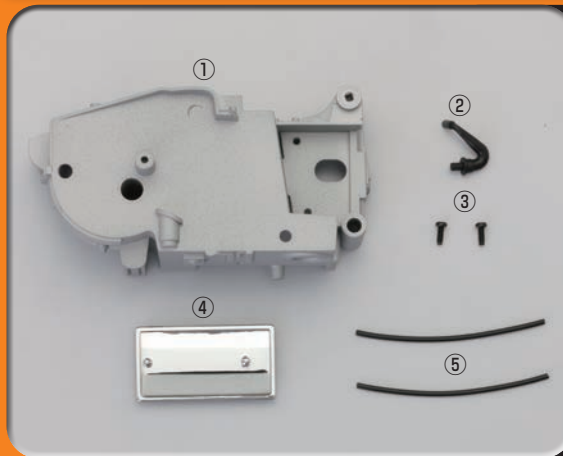
今号の作業

クランクケースを組み立てる②



今号では「クランクケースB」を提供する。このパーツはエンジン下部のクランクケース左側を構成するパーツで、38号で組み立てたクランクケースA、及び39号のオイルパンを取り付けて、クランクケースを完成させる。オイルパンに取り付けた、IRセンサーのケーブルに注意して作業しよう。

今号のパーツ



- ①クランクケースB×1
- ②コードグロメット×1
- ③ビス(Eタイプ)×2
- ④スターターカバー×1
- ⑤ワイヤーケーブル×2

※⑥は今号では使用しないので大切に保管しておこう。

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

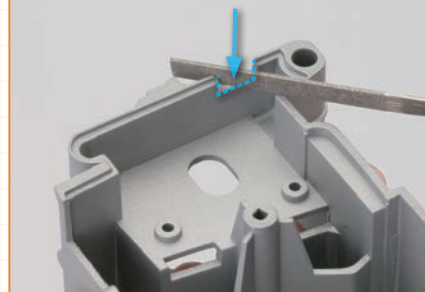
- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・+(プラス)ドライバー(1番/ロングタイプ)
- ・金属ヤスリ(目の細かいホビー用)
- ・ビニールテープ
- ・ハサミ
- ・油性ペン

用意するもの

- ・クランクケースA(38号で組み立てたもの)
- ・オイルパン(39号で組み立てたもの)
- ・IRセンサーウィンドウ(39号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ビス(Bタイプ)×2(39号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)

STEP
1

窪みの縁部分の両側をヤスリで軽く削って、角を落としておく。



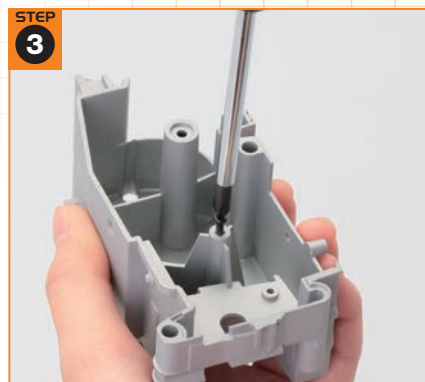
①クランクケースBの後端にある四角い窪みの縁部分を、金属ヤスリで軽く削り、角を落としておく。この窪みはIRセンサーのケーブルを通す部分で、角を落とすことで断線トラブルを回避できる。

STEP
2



クランクケースB内側・後方にあるポスト部のビス穴(写真参照)にタップを立てるため、③ビス(Eタイプ)を真っ直ぐにセットする。

STEP
3

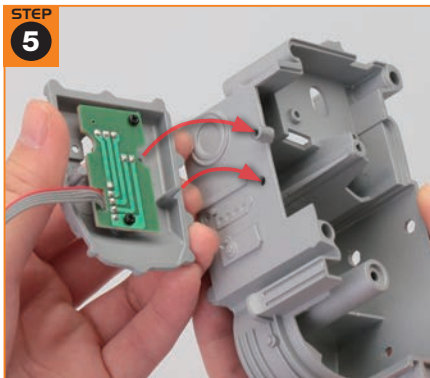


1番の+(プラス)ドライバーを使い、セットしたEタイプのビスを3分の2程度まで“ゆっくり”とねじ込み、その後にドライバーを反対に回して取り外す。これでビス穴にタップを立てることができる。

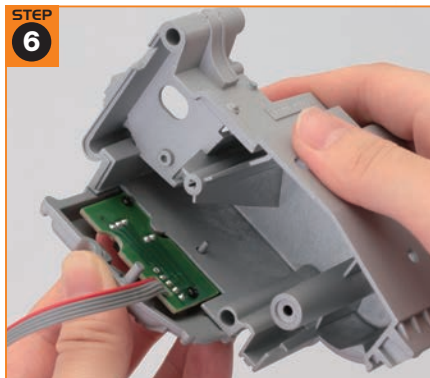
STEP
4



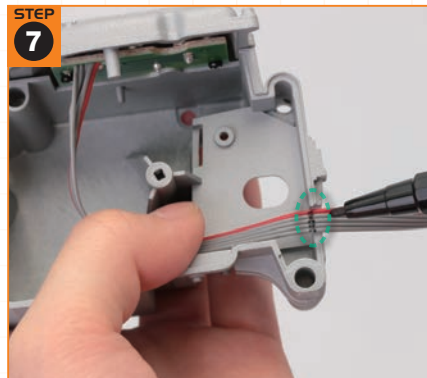
38号で組み立てたクランクケースAを用意し、内側にあるポストのビス穴に②、③と同じ要領でタップを立てる。ポストの形状はクランクケースBと同じで、こちらはケース内側の前寄りにある(写真参照)。



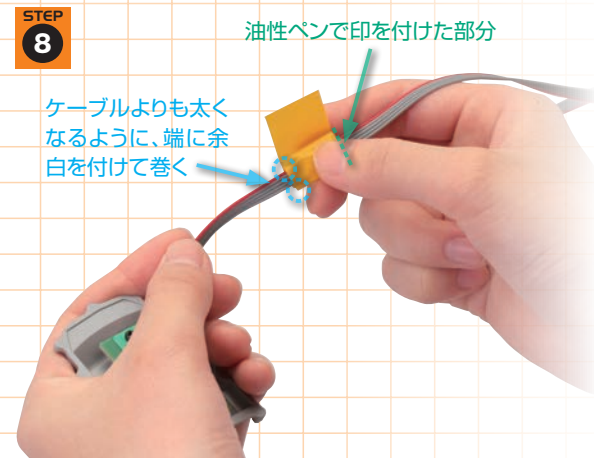
STEP 5
39号で組み立てたオイルパンを用意し、クランクケースBの底面に対し、写真の向きにセットする。ケーブルを強く引っ張らないよう注意しよう。



STEP 6
オイルパンを取り付けた状態。写真のようになっているか確認しよう。



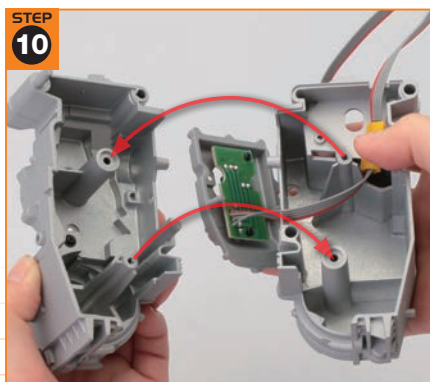
STEP 7
オイルパンが落ちないように保持したままIRセンサーのケーブルを写真のように配置し、油性ペンを使ってクランクケースB後端の四角い窪みと重なる部分に印を付けておく。



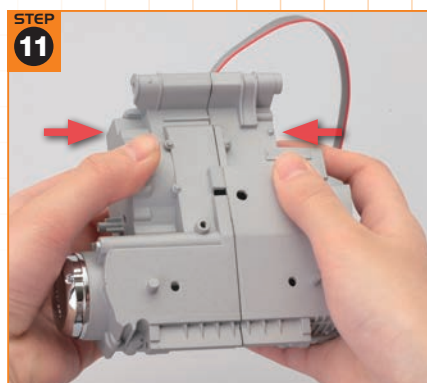
STEP 8
油性ペンで印を付けた部分
ケーブルよりも太くなるように、端に余白を付けて巻く
オイルパンを取り外し、10cm程度に切ったビニールテープをケーブルに巻き付ける。こうすることで、ケーブルを引っ張っても途中でテープが引っかかり、断線を防ぐことができる。巻き付ける位置は、7で付けた印を起点にした基板側で、ケーブルの幅よりも太くなるように巻き付ける。



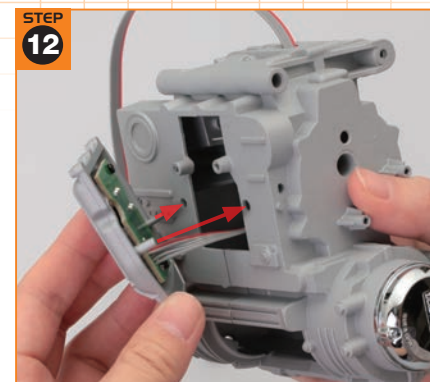
STEP 9
テープで巻いた部分を窪みから2cm程度内側にセットする。
クランクケースBを平らな台に置き、IRセンサーのケーブルを写真の位置にセットする。この時、オイルパンはクランクケースBに取り付けられない。



STEP 10
クランクケースBにセットしたケーブルが外れないよう注意しながら、クランクケースAを被せる。ケース内側にあるそれぞれのポストを重ね合わせるようにしましょう。

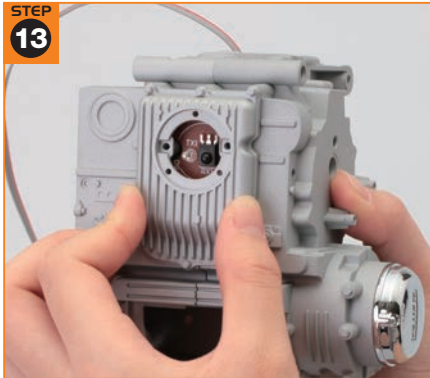


STEP 11
クランクケースAとBを真横から押し、しっかりととはめ込む。この時、IRセンサーのケーブルが窪みの縁にはさまらないよう注意する。



STEP 12
クランクケースが離れないように保持したまま、オイルパンをクランクケース底面に取り付ける。

STEP
13



オイルパン裏側に設けられた取り付けピンが、クランクケース底面の穴にしっかりと差し込まれるよう押し込む。

STEP
14



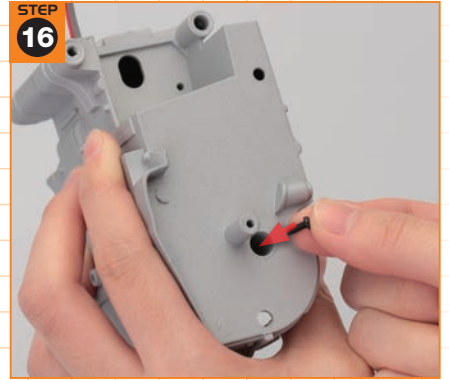
39号で提供したBタイプのビスを用意し、写真に示したビス穴へセットする。

STEP
15



1番のプラスドライバーを使い、Bタイプのビスをねじ込む。あまり強くねじ込むと、ビス穴を傷めてしまうので、硬く感じられたところでねじ込むのをやめよう。もう片方のビス穴(写真参照)も同様に39号で提供したBタイプのビスをねじ込む。

STEP
16



クランクケースB側面の前方に設けられた穴へ、③ビス(Eタイプ)を差し込む。この穴の奥には「クランクケースA内側ポストのビス穴」があるので、Eタイプのビスを“真っすぐ落とす”ように入れる。こうすれば自然とビス穴へセットされる。

STEP
17



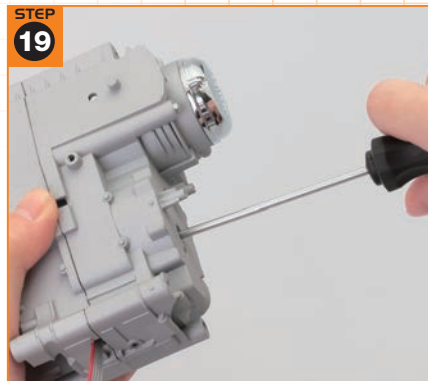
ロングタイプ・ドライバーを用意し、Eタイプのビスをねじ込む。この時、ビスを強くねじ込み過ぎるとビス穴を傷めてしまうので、硬く感じられたところでねじ込むのをやめよう。

STEP
18



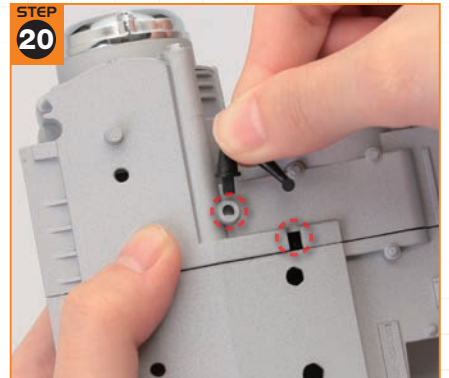
クランクケースA側面の後方に設けられた穴へ、もう1本のEタイプのビスを差し込む。この穴の奥には「クランクケースB内側ポストのビス穴」があるので、Eタイプのビスを“真っすぐ落とす”ように入れる。こうすれば自然とビス穴へセットされる。

STEP
19



⑬と同じく、ロングタイプ・ドライバーを用意し、Eタイプのビスをねじ込む。このビスも、ねじ込み加減に注意しよう。

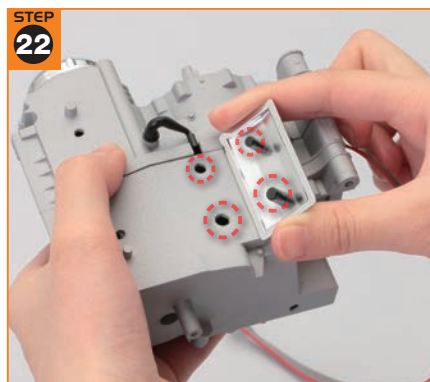
STEP
20



②コードグロメットを用意し、クランクケースA上面の、写真で示した穴へセットする。前側の穴(写真左側の赤丸)には太いピン(穴の一部が平らに削られている)が差し込まれ、後方の溝(写真右側の赤丸)には丸いピン部分がはめ込まれる。



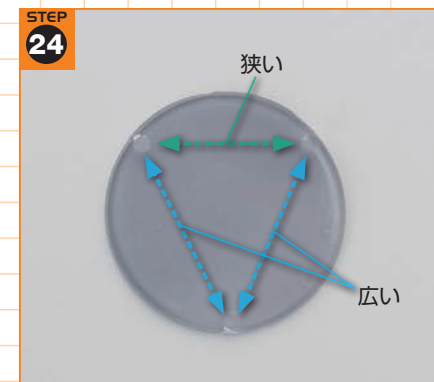
コードグロメットを真上から軽く押し、取り付けピンをしっかりと穴へ差し込む。



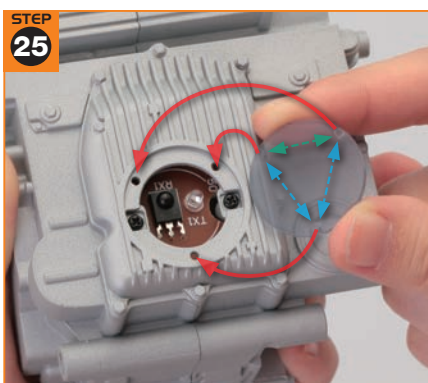
④スターターカバーを用意し、裏側の取り付けピンを確認してクランクケースBの上面にセットする。取り付けピンは、外側(写真上の赤丸)が細く、内側(写真下の赤丸)が太い。



スターターカバーを真上から押し、しっかりとクランクケースBの上面に取り付ける。



39号で提供したIRセンサーウインドウの“ピン位置”を確認しよう。ピンは3本あり、それぞれを結びと“二等辺三角形”になっており、ピン間隔の狭い側がフロントとなる。

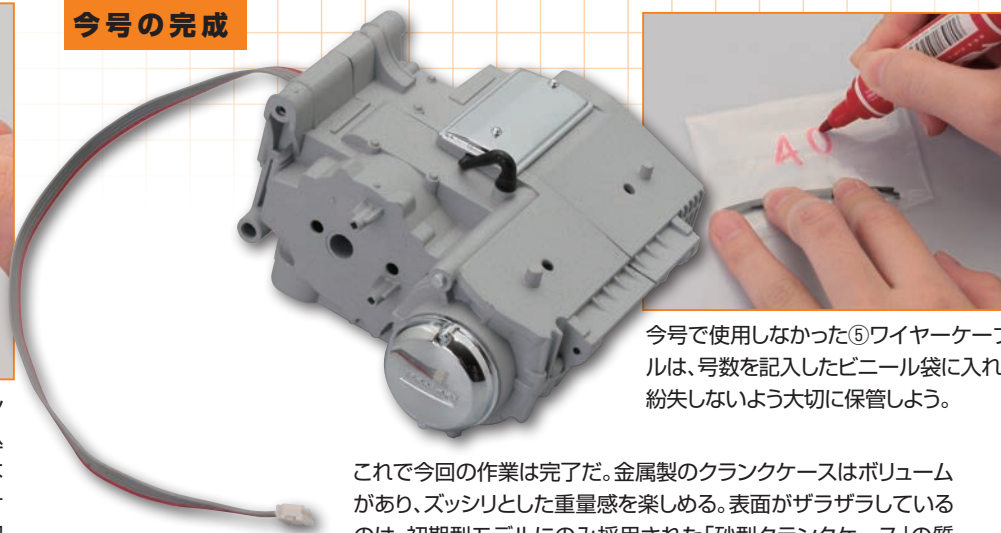


クランクケース底面を上にして持ち、オイルパンに設けられた開口部にIRセンサーウインドウをセットする。この時、②で示した“ピン間隔の狭い側”をフロントへ、間隔の広い側をリヤに向ける。



IRセンサーウインドウのピンと、オイルパン開口部に設けられた穴を合わせ、軽く押し込んで取り付ける。このパーツは脱着可能な状態にしておく必要があるため、簡単に抜け落ちてしまう場合は無理に取り付けず、大切に保管しておいてもらいたい。対処方法は後の号で改めて紹介する。

今号の完成



今号で使用しなかった⑥ワイヤーケーブルは、号数を記入したビニール袋に入れ、紛失しないよう大切に保管しよう。

これで今回の作業は完了だ。金属製のクランクケースはボリュームがあり、ズッシリとした重量感を楽しめる。表面がザラザラしているのは、初期型モデルにのみ採用された「砂型クランクケース」の質感を再現するための特殊加工が施されているためだ。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。